

稲毛区地域福祉計画



推進協議会だより No.11

平成 23 年 10 月 20 日発行

編集：稲毛区地域福祉計画推進協議会事務局

稲毛区穴川 4-12-4（稲毛保健福祉センター内）

TEL：284-6282 FAX：284-6193

23 年度第 1・2 回 稲毛区地域福祉計画 推進協議会 を開催しました。



★区推進協議会の目的・役割★



「花の都・うば」
シンボルキャラクター
うばなちゃん

- (1) 区地域福祉計画の取組状況の把握
- (2) 地域福祉の活動団体間の情報交換、連絡調整
- (3) 行政機関や社会福祉協議会との連絡調整
- (4) 区の地域福祉計画に関する広報

平成 23 年度第 1 回稲毛区地域福祉計画推進協議会（以下区推進協）が、6 月 25 日（土）に稲毛保健福祉センター 3 階大会議室において開催されました。

今年度第 1 回の区推進協では、委員の互選により、委員長に原田委員、副委員長に西脇委員と松原委員が選任されました。続いて、行政から地域福祉計画の概要、目標、イメージ、地域福祉活動を実践するための地区部会への参加や町内自治会への加入促進（担い手不足の解消）や、5 つの基本方針、6 つの重点項目、本計画の周知方法等についての説明が行われました。

平成 23 年度第 2 回区推進協は、9 月 24 日（土）に稲毛保健福祉センター 3 階大会議室において開催されました。今回、自助・共助による区地域福祉計画の取り組み状況を、各委員より内容、進捗状況、成果など発表していただき、推進にあたり抱える課題や悩みなどについての意見交換、情報交換が活発に行われました。また、事務局から当該計画の広報について、本協議会だより、行政作成のリーフレットなどの掲載内容、配布先、配布方法などの説明が行われました。

「地域福祉計画」の実現で

安心して暮らせる

「絆」のまちを！

稲毛区地域福祉計画推進協議会

委員長 原田正隆



今年度の稲毛区地域福祉計画推進協議会委員長に選出されました原田です。若輩者ではありますが、皆様のお知恵とお力をお借りしながら会を運営してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

さて、「稲毛区地域福祉計画」は策定から五年が経過し、今年度から新たな計画期間とする、第二期計画が昨年度末に策定されました。地域福祉計画と聞いてピンと来ない方もいらっしゃるかもしれませんが、区民の参加により実現をめざす、支え合いのまちづくりの計画です。東日本大震災以来、「絆」という言葉が注目されていますが、区民の絆を深めるための計画とも言えます。

当協議会は、既に地域で支え合い活動を行っている団体、支援を必要としている立場の人、公募市民など、様々な委員で構成されています。計画に定められた取組には、委員だけで推進するのは困難なものも多く、一人でも多くの区民の方に、まずはこの計画のことを、推進協議会のことを知ってもらいたいと願っています。そして取組へのご参加を期待するとともに、ご意見・ご要望等もお待ちしております。

第2期 稲毛区地域福祉計画

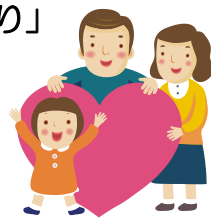
《基本目標》

みんなで支え合い、安心して暮らせる^{ま ち}稲毛をめざして

—心のバリアフリーから始まる“地域発”の取り組み—

《基本方針》

- 基本方針1 地域に住む人々が、お互いを知り、理解することから始めよう
- 基本方針2 人と人のつながりをつくり、活かし、支え合い助け合う地域での連携プレー
- 基本方針3 「気軽に、楽しく、おしゃべりしたり、過ごせたり、活動したり」
するみんなの居場所づくり
- 基本方針4 身近なところで必要な情報を得ることができる仕組みづくり
- 基本方針5 日頃からの緊急時に備えた取り組み



～ 第1期計画から第2期計画へ ～

本推進協議会だよりをご覧の皆様、これまでに上記の基本目標を見たり聞いたりしたことがありますか？これは稲毛区地域福祉計画の「基本目標」です。皆様がお住まいの稲毛区がどのような福祉のまちをめざそうとしているのかを、誰が見てもわかりやすく表したものです。

さて稲毛区は、住み慣れた地域で、誰もがその人らしく安全で安心して充実した生活がおくれるよう、地域住民のつながりを構築し、支え合い助け合う関係をつくり、今まで以上に地域住民同士が協力していくことを目指し、「文教のまち稲毛区」の特性を活かしながら、平成18年3月に「第1期稲毛区地域福祉計画」を策定し、推進を図ってきました。

第2期計画は、第1期計画の稲毛区を目指すべき将来像である基本目標と、地域福祉を推進していくうえでの方向性を示す基本方針は変えないで、34の具体的な取り組み項目を策定しました。そして、引き続き解決に向けた取り組みを地域の連携のもと、取り組みが遅れているものを進めていくこと、取り組んでいるものでさらに進めていくことなど、計画の推進を図るため重点項目を設定しました。

今号では、その重点項目（6つの具体的な取り組み項目）についてご紹介いたします。

稲毛区としての重点項目（6つの具体的な取り組み項目）

1 地域で活動している人・組織同士との連携・協力 【基本方針2】

- 地域で活躍する人・組織が所有している情報をプライバシーに十分配慮しながら共有し、各地域の実情にあった形で連携・協力し、「遠くの親戚より近隣で生活する身近な人による支え合い助け合えるより良い地域」をめざします。
- 人・組織が行っている活動や役割を地域の人に知らせます。
- 市や専門機関とも連携・協力して行います。
- 3ページの4にあるコーディネート組織や暮らしの助っ人隊、大学などとも連携・協力を図っていきます。

2 ボランティアの人材育成

【 基本方針 2 】

- 地域活動を行うのに、ボランティアの存在は欠かせません。このため、講座を開催してボランティアを育成します。
- 地域の方に各種ボランティア活動への参加を促し、体験を通してボランティアの育成に努めます。
- 子ども達を主な対象に、学校でもボランティアの人材育成を進めます。

3 活動の中核となれる人材の発掘

【 基本方針 2 】

- 区内に居住する各種の福祉関係の仕事の経験者や、ことぶき大学校などの生涯大学の学生及び修了者、ボランティアなどから希望者を募り、登録（人材バンク）し、人材を発掘します。

4 コーディネート組織の連携

【 基本方針 2 】

- コーディネート組織が連携していくためには、地域で活動している人や組織、大学などの協力・連携が不可欠です。賛同していただけたところと少しずつネットワークを拡げていきます。
- 最終的には、中学校単位くらいごとにコーディネート組織が立ち上がり、毎日活動しているような地域をめざします。
- 相談や支援に対しては、プライバシーの問題や組織の信頼性、トラブル時の対応、運営方法など、課題もあります。実施にあたっては、慎重に検討しながら進めていきます。

5 安心カードの作成と活用

【 基本方針 5 】

- 社会福祉協議会地区部会や民生委員・児童委員が中心となって、氏名や住所、緊急時の連絡先、地域の民生委員・児童委員などを記載し、緊急時など必要な情報として役立てる安心カードを地域に住む高齢者や障害者などに対し、配布します。
- 在宅中のときは玄関などの発見しやすい場所に、外出するときにはそれを持ってもらい、いざというときに役立てるような対応ができるようにします。
- 地域に安心カードについて周知し、有効に活用できるように工夫します。

6 災害時に対応した地域住民の研鑽を図る

【 基本方針 5 】

- 町内自治会や要支援者団体等で消防署の職員等の災害時対応の専門家を呼んで、災害が起きた時の対応、日頃の備え、避難所生活を送るうえで、障害者や赤ちゃんがいる方など特別な配慮を要する人に対する知識などについて講習を受けます。また、お互いの意見交換の場としても行っていきます。
- 避難訓練を行いますが、参加者が役員や一部の人のみでなく、支援を必要とする人が進んで参加できる地域全体としての意識改革が必要です。そのためには、普段から近隣との情報交換や積極的な交流が大切です。
- 現在、市全体で取り組んでいる、自主防災組織についても進めていくことも必要です。要支援者団体と市などによる話し合いの場をつくり、避難場所のバリアフリー化、車椅子用トイレ、授乳場所の確保等 要支援者にとって必要不可欠なものに対することについて検討をしていきます。

地域生活支援センター ふらる

施設紹介

～地域にお住まいの方々が、気軽に立ち寄れる場所を目指しています～

ラウンジ＆ギャラリー

- コーヒーや手作りパウンドケーキなど、お楽しみ頂ける喫茶店です。
- 月替りで作品展示を行っています。
- 地域の皆様も作品展を開催してみませんか？
- ★ 営業時間：平日 10:30～16:00★



相談の場

- 障害をもたれた方々の生活相談、就労相談、教育相談、子育て相談などを行っています。
- ご相談に応じ、必要な情報提供を行っています。
- 各種制度や福祉サービスの利用に関する相談も行っています。

預かりの場

- 障害児の方を定期的にお預かりしています。
- 緊急時にもお預かりしています。



日中活動の場

- 障害をもたれた方々が、書道・陶芸・ビーズ・園芸・フラワーアレンジメント・調理などの創作活動を行っています。
- 地域の皆様もボランティアとして、一緒に参加してみませんか？



地域生活支援センターふらる

〒263-0015 稲毛区作草部 2-4-6 (モノレール作草部駅近く)

受付時間：平日 8:30 から 17:30

電話番号：050-3734-0480

平成23年度 稲毛区地域福祉計画推進協議会委員名簿

敬称略・50音順

No	氏名	所属団体等	No	氏名	所属団体等
1	飯田 裕子	千葉市社会福祉協議会稲毛地区部会	17	津久井 良往	千葉市社会福祉協議会草野地区部会
2	生島 郁子	公 募	18	西脇 英子	千葉市社会福祉協議会山王地区部会 ○
3	池埜 三紀	地域生活支援センター ふらる	19	原田 正隆	千葉まちづくりサポートセンター ◎
4	石原 康子	千葉市社会福祉協議会緑・黒砂地区部会	20	藤川 勇	稲毛区町内自治会連絡協議会
5	井村 進	千葉市社会福祉協議会稲丘地区部会 ●	21	星野 光	公 募
6	瓜生 澄江	稲毛区民生委員児童委員協議会	22	松井 利之	千葉市身体障害者福祉団体連合会
7	小川 日出男	稲毛区民生委員児童委員協議会	23	松川 智子	公 募
8	金子 トキ子	千葉市老人クラブ連合会	24	松原 正道	公 募 ○
9	木村 秀二	作草部保育園	25	茂手木 直忠	千葉市社会福祉協議会轟・穴川地区部会
10	後藤 育子	千葉市手をつなぐ育成会	26	森脇 清	千葉市社会福祉協議会千草台中学校地区部会
11	鈴木 恵和子	千葉市社会福祉協議会小中台東地区部会	27	矢田 房子	公 募 ●
12	鈴木 金作	稲毛区町内自治会連絡協議会	28	山崎 弘子	千葉市ボランティア連絡協議会 ●
13	田岡 寛	稲毛区町内自治会連絡協議会	29	山田 敏子	ファミリー・サポート・センター会員
14	高階 光義	千葉市社会福祉協議会緑が丘地区部会	30	渡邊 志げ子	稲毛区民生委員児童委員協議会
15	武市 康子	千葉市社会福祉協議会小中台西地区部会	31	渡辺 トシ	千葉市社会福祉協議会301地区部会
16	種池 賀子	稲毛区町内自治会連絡協議会			

◎：委員長 ○：副委員長 ●：広報委員

◇◇◇◇◇ 編集後記 ◇◇◇◇◇

第2期稲毛区地域福祉計画が決定される前日に東日本大震災がおきました。次第に明らかになっていく被害は予想をはるかにこえたものでした。しかし、そのような状況の中で、お互いに助け合って、困難な状況を乗り越えようとしている人々がいます。

この計画に多くの人がかかわり、活用することによって地域の中に『絆』が育っていくと思います。

